

第一回 ISDSB2010 開催準備会（ヨーロッパ・日本合同会議）議事録

場所：Grand Cube Osaka（大阪国際会議場） R-0805 室

日時：平成20年8月29日 15:00～18:00

参加者：EU メンバー； John Helliwell（英国）， Roger Fourme（フランス）
日本メンバー；安岡則武、坂部知平、川上善之、山根 隆、中川敦史、
松崎尹雄、神谷信夫、新村信雄

議事：

1. ISDSB 成立の概要と根本概念の確認

John Helliwell が「回折構造生物という概念は 169 委員会の発案であり、169 委員会から ISDSB2010 開催が承認される時点で指示された内容を尊重する」として、そのときの文章が読み上げられた。

2. 開催場所及び時期の承認

Roger Fourme から下記の提案と説明があり了承された。

開催時期：2010 年 5 月 25 日（火）～28 日（金）

開催場所：フランス、Gif-Sur-Yvette にある 放射光施設 Soleil

3. 国際諮問委員の選定

EU メンバーと坂部知平 169 委員会委員長が相談して作成された国際諮問委員会委員の名簿が John Helliwell から提出され、議論のすえ、一部修正の後、承認された。

4. プログラムの検討

プログラムの大筋は既にメールにより打ち合わせており、169 委員会の NewsLetter Vol.2-2 に掲載済みであり、その案を基に検討を深めた。

1) 9 コマのマイクロシンポジウム (MS) 案が示された。この中に創薬関連の MS は 1 コマであった。川上善之委員より 2 コマにする提案が出された。議論の末、新村信雄委員の提案した「精密解析と中性子は関連が大きいのでこの 2 コマを融合して 1.5 コマとし、創薬関連も 1.5 コマとする」が採択された。この他、MS のタイトルなどの詳細は現地委員会に一任された。

2) ノーベル講演は過去 2 回同じ人物をお願いしてきたが今回は変えることが了承され、人選は John Helliwell, Roger Fourme, Werner Kuhlbrandt、坂部知平、安岡則武の 5 名 (Executive Committee; 国際実行委員会) で後日決めることが認められた。

3) Plenary 講演についても後日決定となった。

4) このほか、MS 座長の人選や講演者の人選など過去 2 回の方式について EU 側から質問

があり、神谷信夫（第一回実行委員長）及び山根 隆（第二回実行委員長）、他が詳しく説明した。

5. 予算案（収入予測）について議論がなされた。

1) 登録料は原案として過去 2 回を参考にして Euros で提案されたが、端数がつき、更に予算が不足していることから、多少の増額要求が出され、承認された。

2) IUCr, ECA, UK STFC, French CNRS など、多くのところへ予算申請するが未だ確定しているものは少ない。

3) 展示も行う。

4) Booklet への広告の提案がなかったので日本側から提案し、大変よい案だという事ですぐ受け入れられた。

6. 予算案（支出予測）についての議論がなされた。

1) 会場費などは「放射光施設 Soleil」を使用するため極めて安価、240 人収容可能な講堂が使用料は 240 ユーロ/day (38,400 円/日程度)、その他コーヒーサービスなどの表も示された。

2) 招待講演者は原則としてホテル代の援助のみで、特別なゲスト以外には航空運賃の支給は行わないとの提案が出され、承認された。

3) 第 169 委員会から約 25 人の派遣を検討する予定である。但し、これについては今後運営委員会、総会で決定を要する事項である。

7. その他

1) 1st サーキュラーは印刷して、各種の会議場に置くが郵送はしない。またこれら告知情報は HP 等電子掲示板に掲げる。

2) 2nd サーキュラーは印刷せず、電子情報のみとする。

3) Booklet を含めカバーページのデザインなどは現地委員会に一任する。

4) その他上記情報の詳細等は国際実行委員会で議論する。

5) Proceeding は JSR から出版する。編集委員長は安岡則武委員が兼任する。第 169 委員会メンバーと産学協力研究会委員長に配布する分、約 120 冊は別途 169 委員会で購入する。